

### 3 鍋足山自然環境保全地域



#### 1 地域指定

- (1) 指定地域 鍋足山周辺一帯（里美村，水府村）
- (2) 指 定 昭和50年12月23日（茨城県告示第1307号）

#### 2 保全計画の概要

##### (1) 地域の指定

本地域は鍋足山を中心として、植生はアカマツ、イタヤカエデ、ヤマツツジなどからなっており、また地質は安山岩質集塊岩からなり、切り立った断崖が多く地形、地質が特異な自然環境を形成している。このように本地域は自然度が高い状態を維持し、学術的にも貴重なものであり、地形及び地質が特異であるところから、これらの特異な自然の現象が生じているものを保全し、これと一体となった優れた自然環境を維持するため、自然環境保全地域に指定し、保全を図る。

##### (2) 保全すべき自然環境の特質

鍋足山を中心とする本地域は、地貌が急峻であり、特に山頂（海拔524メートル）は安山岩質集塊岩から成る岩壁が30メートル程の高さにそびえている。これらの周辺の岩石は、第三紀中新世に起こった海底火山爆発によって溶岩が流出し、海水で冷却されてできたいわゆる火成碎屑岩である。陸地化したのは第三紀末期以降と推定される。

岩壁が切り立ち特異な環境をなしているために、そこに生育する植物は特殊化し、分布上貴重な種類も数多くあり生態的にも重要な地域である。

#### ア 植 生

山頂及び尾根筋は切り立った岩壁となっているため、高木層の発達が悪くアカマツ、ダンコウバイ、イタヤカエデ、メグスリノキ、シモツケなどが灌木状にまばらに生育し、岩壁にはカタヒバ、イワヒバ、アオホラゴケ、ミヤマスカシユリ、フクロダガヤ、ニッコウキスゲ、ウチョウラン、ヒナラン、セッコクなどが見られ、これらのほとんどが分布上重要な種類である。

低地にはアカシデ、チドリノキ、ヤマボウシなどの温帯性落葉樹林が発達し、自然林を形成している。またアカマツ林も多く20メートル近い高木となり、林床にはツツジ類が優占種となっている。沢沿いにはヒノキ、スギの見事な植林が見られる。

#### イ 野生動物

動物相はヤマドリ、キジ、キジバトなどの野鳥類をはじめ、ノウサギ、ムササビ、リスなどの哺乳動物も生息している。

#### ウ 地形、地質、自然現象

鍋足山は西にゆるく傾き、東は急な崖で、里川に面している。急崖は断層と節理による孤立した山塊で、断層地塊とみられる。

山体を形成する集塊岩は、男体山集塊岩層の一部でガラスの質の黒色ちみつ無斑晶両輝石安山岩と同質の火山灰より構成される。まれに枕状構造を呈することがある。これは第三紀中新世中期の海底火山噴出物とみられている。

鍋足山の地形は、棚倉破砕帯を構成する南北性の断層とこれにほぼ直交する東西性の断層によって男体山集塊岩層より離れて存在する。

男体山集塊岩層と鍋足山の集塊岩との間には黒沢層群の砂岩、礫岩が分布し、それぞれ断層で接している。この山は断層地形の特徴をよく表わすものである。

### (3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

#### ア 特別地区指定及び保全のための規制に関する基本方針

保全地域のうち地形、地質が特異で貴重な植生等特に保全度の高いところを特別地区に、またこれと一体となって自然環境を形成している土地の区域を普通地区に指定して、その区分に応じた保全を図る。

#### イ 保全施設に関する基本方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設ける。

### (4) 地区の区域設定に関する計画

#### ア 特別地区

当該地区の生態系構成上重要なもの

安山岩質集塊岩からなり、切り立った断崖が多く、地形、地質が特異でそこに生育する植物はカタヒバ、タチクラマゴケ、アオホラゴケ、ミヤマスカシユリ、ニッコウキスゲ、ムギラン、セッコクなど分布上貴重な種類が多い。

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別 面 積	摘 要
鍋 足 山 自 然 環 境 保 全 地 域 特 別 地 区	茨城県久慈郡 里美村 水府村地内	茨城県久慈郡 里美村、水府村 国有林 大子宮林署 大子事業区 54林班り小班 62林班を つ小班	ヘクタール  24.87	ヘクタール  国有地 24.87	地形、地質 の特異性と 植物



イ 普通地区

名称	位置	区域	総面積	土地所有別面積	摘要
鍋足山 自然環境 保全地域 普通地区	茨城県 久慈郡 里美村 地内	茨城県久慈郡里 美村大字小中の一 部 国有林 大子営林署 大子事業区 54林班 ち小班	ヘクタール  34.85	ヘクタール  民有地 32.35 国有地 2.50  計・34.85	切り立った 継崖の特異 性がある地 形と地質、 岩壁の植物 など

総括表

区分	特別地区									普通地区			合計		
	野生動植物 保護地区			その他の 地区			小計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所有別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地						
所有別面積 (ヘクタール)	0	0	0	24. 87	0	0	24. 87	0	0	2.50	0	32. 35	27. 37	0	32. 35
地区別面積 (ヘクタール)	0			24.87			24.87			34.85			59.72		
地区別 (パーセント)	(0)			(42)			(42)			(58)			(100)		

(面積は公簿による。)

(5) 保全のための規制に関する計画

木材の伐採に関する計画

木竹の伐採の方法及び限度

特別 地区名	位置	区域	総面積	土地所有別 面積	伐採の方法及び限度
鍋足山 自然環境 保全地域 特別地区	茨城県 久慈郡 里美村、 水府村地内	国有林 大子営林署 大子事業区 54林班 り小班 62林班を つ小班	ヘクタール  24.85	ヘクタール  国有地 24.85	木竹の伐採については択 伐(択伐率現在蓄積の30 パーセント以内)とする。

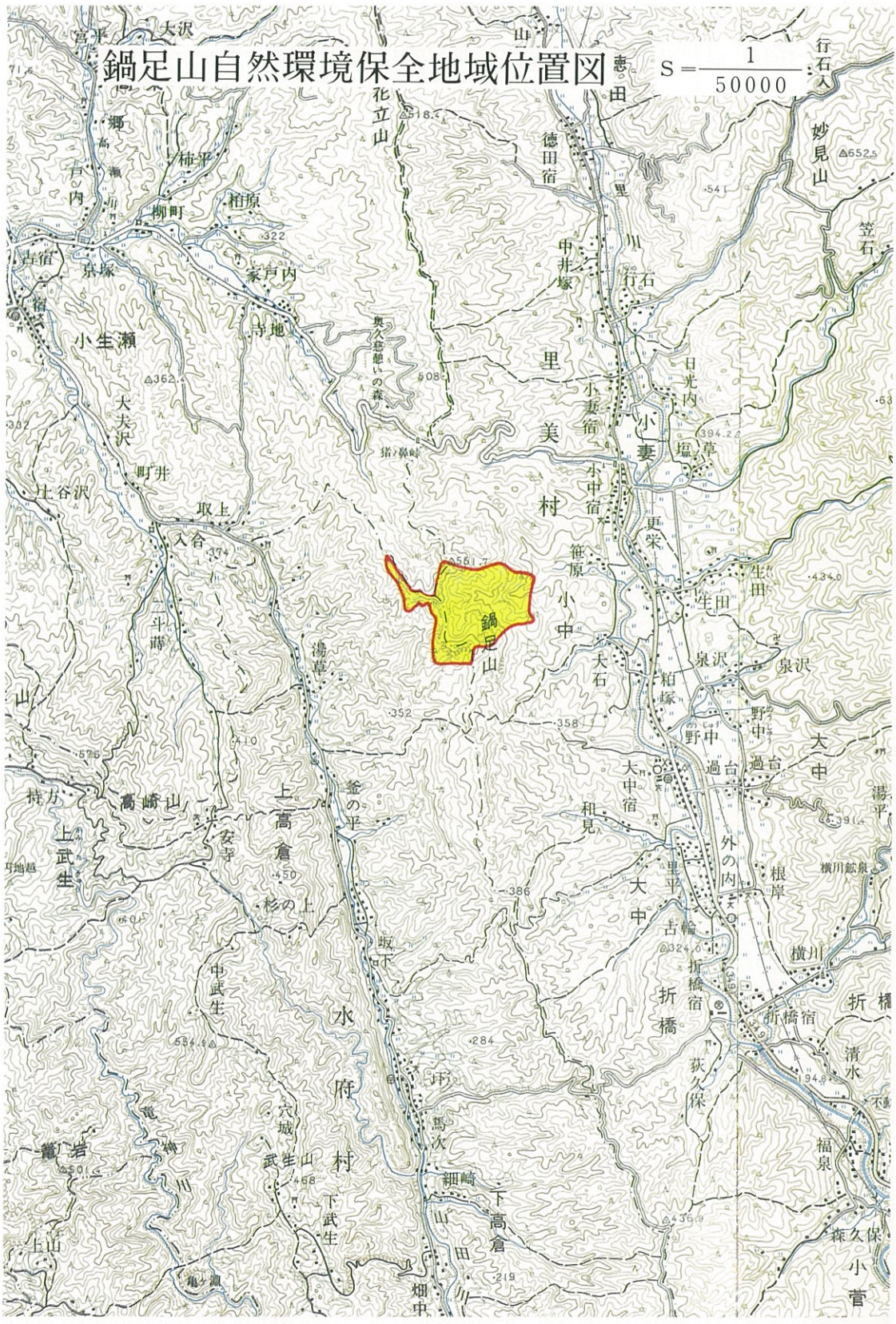
特別地区内木竹伐採総括表

伐採方法 限度所有別	禁伐等			30パーセント 以内択伐等			その他			合計		
	国有地	公有地	民有地	国有地	公有地	民有地	国有地	公有地	民有地	国有地	公有地	民有地
所有別面積 (ヘクタール)	0	0	0	24. 85	0	0	0	0	0	24. 85	0	0
伐採方法限度面積 (ヘクタール)	0	0	0	24. 85	0	0	0	0	0	24. 85	0	0
％ (パーセント)	(0)			(100)			(0)			(100)		



# 鍋足山自然環境保全地域位置図

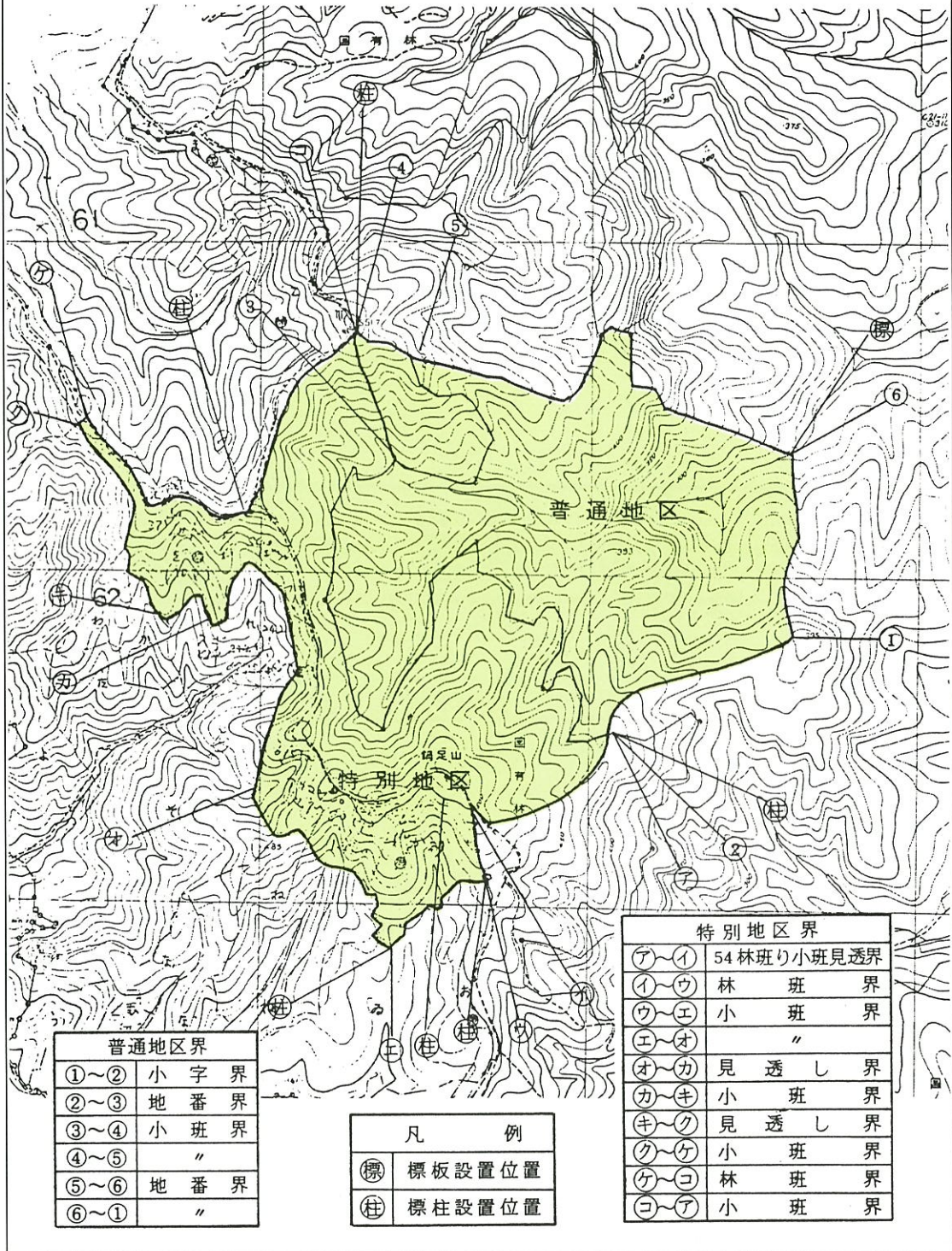
S =  $\frac{1}{50000}$





# 鍋足山自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{10000}$$



普通地区界	
①~②	小字界
②~③	地番界
③~④	小班界
④~⑤	"
⑤~⑥	地番界
⑥~①	"

凡 例	
Ⓒ	標板設置位置
Ⓓ	標柱設置位置

特別地区界	
ア~イ	54林班り小班見透し界
イ~ウ	林 班 界
ウ~エ	小 班 界
エ~オ	"
オ~カ	見 透 し 界
カ~キ	小 班 界
キ~ク	見 透 し 界
ク~ケ	小 班 界
ケ~コ	林 班 界
コ~ア	小 班 界